

第12章 西ノ原遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約300m、さかい川の谷頭部から約500m下った右岸、標高18～21mに位置する。さかい川は現在の富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源を持つ伏流水で、東から西へ流れて入間川の支流新河岸川に注ぐ。かつては水量も豊富であったと言われるが、現在は下水路となっている。西ノ原遺跡とさかい川との高低差は2～3mで、武蔵野台地縁辺で一段低い部分、さかい川が侵食によって作り出した低位台地上に立地する。

周辺の遺跡は、下流に中沢前遺跡が隣接し、さらに下流域には神明後遺跡、苗間東久保遺跡、浄禅寺跡遺跡等縄文時代の集落が存在する。さかい川対岸には東久保南遺跡と富士見市のオトウカ山があり、その下流には縄文時代中期後半集落の中沢遺跡が広がる。

本遺跡は昭和40年代頃までは武蔵野の面影を残す農村地帯であったが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の増加に伴い遺跡の破壊が進んでいる。1971年以来2017年4月現在で172地点

に及ぶ調査で明らかになった遺跡の時期は、旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期、平安時代、中世、近世である。特に縄文時代中期には、210軒を越す住居跡が環状集落として形成され、市内において東台遺跡と共に中期全般を通した良好な大規模集落跡であったことがわかる。

II 西ノ原遺跡第160地点

(1) 調査の概要

調査は駐車場造成に伴うもので、2014年4月15日に現地では表土層の削平工事が行われているのを確認したため、原因者と連絡をとった。

現地は西ノ原遺跡の範囲内にあるため、「埋蔵文化財事前協議書」と文化財保護法第93条第1項、同第5条第2項の「埋蔵文化財発掘の届出について」の提出と併せて試掘調査について協議した。工事に際し緊急を要するため、同年4月15・16日に試掘調査を実施した。その後、原因者より同年4月24日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」と「埋蔵文化財発掘の届出



第35図 西ノ原遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第 21 表 西ノ原遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収 報告書	地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収 報告書
1		1971			住居跡1、土坑3、集石土坑1	町資1	65	西ノ原145-1	1993.6.7～6.11	615	共同住宅	縄文中期土坑3、平安時代住居跡1、土師器、須臾器	町Ⅲ
2	西ノ原83	1978.12.6～12.26	270	宅地造成	住居跡1、溝2、旧石器、縄文土器1979「西ノ原遺跡」	西ノ原遺跡	66	西ノ原133-2	1993.6.30～7.19	474	共同住宅	近代溝、縄文土器	町Ⅲ
3		1979.3		宅地造成	土器片のみ出土		67	西ノ原159-2	1994.1.20・21	308	倉庫	縄文中期土坑、ビット、近代溝	町Ⅲ
4	西ノ原125-1	1979.7.2～7.9	668	宅地造成	遺構なし、縄文中期土器	東Ⅰ	68	西ノ原91-2・6	1994.3.22～3.25	285	店舗住宅	遺構遺物なし	町Ⅲ
5		1979.8.1～8.14		町史編纂事業	住居跡1、土坑1、早期竪穴2、縄文中期土器「大井町史料7集」	町史料7	69	苗間106	(1994.4.8～4.27) 1994.5.16～10.24	1,821	店舗	縄文中期住居跡28、土坑6、ビット11、溝1	調査13
6	西ノ原170-2	1980.6.19～6.27	450	宅地造成	土坑2、柱穴2、堀之内Ⅱ式土器他	東Ⅱ	70	苗間136	1994.5	551	店舗	屋外埋壊4、土坑14	調査6
7	西ノ原96-1	1080.10.1～10.29	563	宅地造成	旧石器礫群2、縄文土坑1	東Ⅱ	71	苗間112	1994.6～7	309	個人住宅	落とし穴1	
8	西ノ原95-2・3	1980.10.30～11.14	661	宅地造成	縄文集石土坑2、土坑1、溝2、縄文中期土器	東Ⅱ	72	苗間112-109	1994.11.2～11.28	321	個人住宅	縄文中期住居跡3、土坑2、溝2	町Ⅳ
9	西ノ原93-1、98-1	1981.6.1～6.23	600		柱穴6、溝2、石器、土器	東Ⅲ	73	苗間92-1	1994.3.27～3.29	274	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅳ
10	西ノ原180-2	1981.11.4～11.13	400	個人住宅	柱穴11	東Ⅲ	74	苗間163	(1994.4.21～5.13)	169	事務所	ビット6	町Ⅴ
11	西ノ原143-4	1983.5.23～5.27	198	宅地造成	縄文土坑1、縄文中期土器	東Ⅴ	75	苗間122	(1995.5.16～5.23) 1995.6.2～9.23	379	事務所	縄文中期住居跡17、集石土坑1、土坑4、集石2、ビット9、溝1	調査13
12	西ノ原123-3	1983.7.6～8.11	330		縄文中期住居跡2、縄文土坑39	東Ⅴ	76	苗間151-2他	(1995.4.20～4.27)	468	倉庫	ビット1、溝1	町Ⅴ
13	西ノ原114-6	1983.9.13～10.18	350		縄文中期住居跡1、縄文土坑56、集石1、溝1	東Ⅴ	77	苗間143-2	(1995.5.24・25) 1995.6.1～7.28	347	店舗	縄文中期住居跡1、土坑18、溝4、ビット58	調査13
14	西ノ原143	1983.10.24～11.7	240		縄文中期住居跡2、縄文土坑3、集石1、溝1	東Ⅴ	78	苗間22-3-2	(1995.6.28～8.8)	45	貯水槽	縄文中期住居跡3	町Ⅴ
15				共同住宅	縄文土坑2、ビット6		79	苗間162-2他	(1995.6.29～7.24)	135	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅴ
16					遺構なし		80	苗間83-2	(1995.7.19～7.25)	319	駐車場	遺構遺物なし	町Ⅴ
17	西ノ原135-3	1985.5.13～5.22	165	宅地造成	縄文土坑2、溝1	東Ⅵ	81	苗間169	(1995.8.2～8.7)	223	店舗付住宅	溝1、遺物なし	町Ⅴ
18	西ノ原141-2	1985.7.26～8.5	569	宅地造成	縄文中期住居跡1、縄文土坑1、ビット群	東Ⅵ	82	苗間168	(1995.8.1～8.5)	249	事務所	遺構遺物なし	町Ⅴ
19	西ノ原135-1	1986.7.8～7.21	230	住宅建設	縄文中期住居跡1、縄文土坑1、屋外埋壊2	東Ⅶ	83	苗間136-2	1995.8.23～10.21	190	個人住宅	縄文中期住居跡2、集石土坑2、土坑2、ビット22	町Ⅴ
20	西ノ原135-1	1986.11～1987.4	3,553	区画道路	縄文早期竪穴4、中期住居跡12、竪穴状遺構、屋外埋壊2、落とし穴5、土坑40	調査6	84	苗間108、109	(1995.11.30～12.9)	135	個人住宅	土坑1、ビット5	町Ⅴ
21	西ノ原95-1	1986.12.11～1987.1.9	447	住宅	竪穴状遺構1	東Ⅶ	85	苗間181-3	(1996.1.9～1.26)	654	パチンコ店	遺構遺物なし	町Ⅴ
22		1987	480	資材置場	縄文中期住居跡2、縄文土坑11、ビット2	東Ⅷ	86	苗間113-2、93-1	(1996.4.19) 1996.4.22～5.15	698	個人住宅	土坑6、ビット26、溝2	町Ⅵ
23		1987.7～8	1,024	区画道路	土坑2	調査6	87	苗間182-1	(1996.6.14～6.17)	344	学習塾	遺構遺物なし	町Ⅵ
24		1987			縄文中期住居跡2確認、未検出		88	苗間西ノ原182-3、189-2、202-1	(1996.7.16～7.22) 1996.8.1～8.8	745	共同住宅	土坑3、ビット29、櫛列1、落とし穴1、竪	調査13
25		1988.1～2	781	区画道路	遺構なし	調査6	89	苗間西ノ原112	(1996.7.17・18)	143	個人住宅	溝、土器片のみ	町Ⅵ
26		1988.3～4	1,649	区画道路	旧石器礫群、縄文中期住居跡3、土坑9、ビット、屋外埋壊1	調査6	90	苗間西ノ原142-2	(1996.7.3) 1996.8.7～8.30	177	個人住宅	縄文中期住居跡2、竪穴2、土坑1、ビット9	町Ⅵ
27		1988.10	942	区画道路	縄文中期住居跡5、縄文土坑2、竪穴1、集石土坑1	調査6	91	苗間169	(1996.8.1～8.5)	477	店舗	遺構遺物なし	町Ⅵ
28		1988.11		区画道路	遺構なし	調査6	92	苗間192-2	(1996.10.23～10.28)	684	店共用住宅	遺構遺物なし	町Ⅵ
29		1988.12		区画道路		調査6	93	苗間315	(1996.10.22・23)	141	分譲住宅	遺構なし、土器片のみ	町Ⅵ
30		1989.2～3		区画道路	土坑1	調査6	94	苗間145-2	(1996.11.11・12)	165	個人住宅	遺構なし、土器片のみ	町Ⅵ
31	西ノ原115-1	1989.11.4～11.11	21	下水管理設	遺構なし	東Ⅹ	95	苗間154	(1996.11.14～11.19)	283	商業ビル	竪穴1	町Ⅵ
32	西ノ原122	1989.1.10～1.19	21	区画道路	縄文中期住居跡1、屋外埋壊3	東Ⅹ	96	苗間441	(1996.12.17～12.20) 1997.1.9～1.14	333	個人住宅	縄文中期住居跡2、竪穴2、土坑1、ビット3	町Ⅵ
33	西ノ原153-2	1989.1.10～1.19	21	区画道路	縄文中期住居跡1	東Ⅹ	97	苗間97-2	(1996.12.19・20)	141	分譲住宅	遺構遺物なし	町Ⅵ
34	西ノ原171	1989.1.24～1.31	21	区画道路	縄文中期住居跡1	東Ⅹ	98	苗間171-2	(1997.1.6)	206	個人住宅	盛土保存	町Ⅵ
35		1989.2～3	4,000	区画道路	縄文中期住居跡1、土坑1	調査6	99	苗間97-1	(1997.1.20～1.24)	396	個人住宅	土坑1、落とし穴1、ビット12、溝1	町Ⅵ
36		1989.3～4		区画道路	縄文中期住居跡4、縄文土坑5、落とし穴2 井戸1	調査6	100	苗間150-2	(1997.4.5～4.12)	447	共同住宅	土坑2、ビット3	町Ⅶ
37		1989.5～8	200	区画道路			101	苗間183-1・3	(1997.7.22～7.25)	187	モデルハウス	遺構遺物なし	町Ⅶ
38	西ノ原142-2	1989.8.29～9.12	74	個人住宅	縄文中期住居跡1、土坑3	東Ⅹ	102	大井苗間22街区5画地	(1997.10.9～10.20)	179	個人住宅	ビット2、溝2	町Ⅶ
39	西ノ原142-2	1989.8.29～9.12	94	個人住宅	土坑2、溝2	東Ⅹ	103						
40		1989.9.18～10.16、 1989.10.19～11.4	980	消防訓練場	縄文中期住居跡4、土坑4、集石土坑1、ビット28	東Ⅹ	104	苗間22街区2画地	(1997.10.6～10.8)	223	個人住宅	焼土、溝2	町Ⅶ
41		1989.9～10	476	区画道路	縄文中期住居跡4、土坑1	調査6	105	苗間125-2、126-2	(1998.1.13～2.12)	565	共同住宅	縄文中期住居跡1、竪穴1、溝9	町Ⅶ
42		1991.12～1992.7		区画道路	屋外埋壊2、土坑19	調査6	106	苗間112	(1998.1.28～2.4)	135	個人住宅	ビット1	町Ⅶ
43	苗間153-3	1990.6.26～7.9	272	個人住宅	縄文中期住居跡4、土坑3	東ⅩⅠ	107	苗間112	(1998.2.9～2.13)	135	個人住宅	ビット4、溝1	町Ⅶ
44		1990.6～8	3,224	区画道路	屋外埋壊、竪穴3、落とし穴2、土坑16、集石土坑1	調査6	108	苗間91-1、92-1、99-1	(1998.3.3)、 1998.3.4～3.17	413	個人住宅	縄文住居跡1、土坑1、近世溝3	町Ⅶ
45		1991.2		区画道路			109	苗間83-4、429	(1998.3.11～3.18)	429	店舗付共同住宅	遺構遺物なし	町Ⅶ
46	苗間83-2	1991.4.9・10	199	個人住宅	遺構なし、土器片のみ	町Ⅰ	110	苗間146-2	(1998.4.20～5.28)	385	郵便局	落とし穴1、集石1、礫群1	町Ⅶ
47	苗間136-2	1991.7.15～7.26	141	個人住宅	遺構なし、石畿、土器片のみ	町Ⅰ	111	大井苗間23街区9画地	(1998.10.23～10.27)	354	個人住宅	ビット1、近世の溝1、道1	町Ⅶ
48		1991.9～10	2,610	区画道路	縄文中期住居跡、土坑3	調査6	112	大井苗間23街区9画地	(1999.2.9)	144	個人住宅	近世の溝のみ	町Ⅶ
49		1991.12～1992.1		区画道路	縄文中期住居跡12、集石土坑1、土坑8	調査6	113	大井苗間57・58街区	(1999.4.5～12.14) 2000.1.6～3.13	2,817	店舗	旧石器時代のユニット、中期住居跡6、竪穴2、土坑、ビット、近世溝	町Ⅹ
50		1991.11～12		区画道路	縄文中期住居跡15、屋外埋壊1、土坑3	調査6	114	西ノ原194-1	(1999.8.4～8.12)	676	駐車場	落とし穴1、ビット2	町Ⅹ
51	苗間153-2	1991.2.4～2.12	1,190	モデルルーム	縄文中期住居跡2、掘立柱跡、土坑2、ビット5	町Ⅰ	115	大井苗間52街区3画地	(1999.9.27～9.29)	135	事務所	遺構遺物なし	町Ⅹ
52	苗間122	1991.2.10～2.20	984	ガソリンスタンド	縄文中期住居跡14、集石土坑7、土坑5、野外竪穴1、ビット19	調査5	116	大井苗間59街区11画地	(1999.12.2・3)	119	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅹ
53	西ノ原133-2	1992.6	261	分譲住宅			117	大井苗間199-2	(1999.12.2～12.4)	131	店舗併用住宅	遺構遺物なし	町Ⅹ
54		1992.5～7		区画道路	集石土坑1、土坑1	調査6	118	大井苗間59街区45画地	(2000.4.3～4.12)	548	店舗住宅	遺構なし、縄文中期土器片	町Ⅹ
55	西ノ原135-5他	1992.5.21～6.23	241	駐車場	縄文中期住居跡2、竪穴5、土坑1	調査5	119	大井苗間18街区4画地	2000.11.15～12.6	221	倉庫	縄文中期住居跡3、土坑1、近世溝1	町Ⅹ
56	西ノ原133-2	1992.6.23～6.26	261	分譲住宅	集石土坑1、土坑3、ビット6、溝1	町Ⅱ	120	大井苗間24街区4画地	(2001.5.7～5.15)	1,120	共同住宅	遺構なし、縄文中期土器片	町ⅩⅠ
57	西ノ原143-3・4	1992.7.6～9.1	174	個人住宅	縄文中期住居跡2、土坑1	町Ⅱ	121	旭1-15	2002.2.7～3.8	803	個人住宅	縄文中期住居跡2、土坑2、ビット35、近世溝4	町ⅩⅠ
58	西ノ原137-2	1992.9.8	146	個人住宅	遺構なし、縄文土器若干	町Ⅱ	122	大井苗間14街区8画地	(2002.3.9～3.19) 2002.6.21～7.22	593	共同住宅	縄文中期住居跡4、溝3	町ⅩⅠ
59	西ノ原135-1	1992.10.6～11.12	494	個人住宅	縄文中期住居跡3、竪穴11、屋外埋壊1、土坑1、ビット12	町Ⅱ	123	大井苗間19街区10画地	(2002.9.3～9.9)	252	共同住宅	根切溝のみ	町ⅩⅡ
60	西ノ原136-2	1992.12.10～12.25	253	個人住宅	縄文中期住居跡2、竪穴4、土坑1、ビット34、落とし穴1	町Ⅱ	124	苗間137-2	(2002.10.2～10.6) 2002.10.8～10.11	524	個人住宅	縄文中期住居跡1、土坑2、溝2	町ⅩⅡ
61	西ノ原	1993.2	2,240	区画整理	早期竪穴状遺構1、落とし穴3、土坑2、竪穴	調査6	125	旭1-8-2	(2003.2.14～2.19)	182	個人住宅	ビット5	町ⅩⅡ
62							126	旭1-13-6・7	(2004.2.23～2.25)	153	個人住宅	遺構遺物なし	町ⅩⅡ
63	西ノ原162-3、169	1993.4.13～4.22	147	共同住宅	中(近世)ビット群、遺物なし	町Ⅲ	127	旭1-13-4・19	(2004.5.24・25)	327	個人住宅	土坑1	町ⅩⅡ
64	西ノ原94-1	1993.4.27・28	327	共同住宅	近世・近代溝、前期土器	町Ⅲ	128	旭1-16-9・10	(2004.6.14～7.15)、 2004.7.16～9.29	614	店舗	縄文中期住居跡17、集石5、土坑10、ビット17	町ⅩⅡ

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収 報告書
129	旭1-11-5	(2004.9.30～10.7)	235	共同住宅	縄文中期住居跡1	町XⅡ
130	旭1-5-8	(2004.10.14・15)	116	個人住宅	遺構遺物なし	町XⅡ
131	旭1-5-13	(2004.10.22)	97	店付個人住宅	遺構遺物なし	町XⅡ
132	苗間1-15-17	(2005.7.28～8.2) 2005.8.3～8.11	272	店舗併用共同住宅	縄文中期住居跡3、炉穴7、土坑1	調査18
133	旭1-8-8	(2005.10.11・12)	176	個人住宅	遺構なし、土器片	市2
134	旭1-13-8	(2005.10.6～10.11)	348	店舗	道路1	市2
135	うれし野1-5-2	(2006.3.14～4.28) 2006.5.29～6.19	3,341	店舗併用共同住宅	縄文中期住居跡1、炉穴1	市3
		(2007.11.5～11.12)	257		土坑1、ピット3	市4
136	苗間1-13-22・23	(2006.6.23)	630	学生寮	遺構遺物なし	市3
137	うれし野2-17-5・6・7	(2006.8.3～8.7)	861	共同住宅	遺構遺物なし	市3
138	旭1-4-7・8	(2006.11.21・22)	247	個人住宅	遺構遺物なし	市3
139	うれし野1-4-4・5・6	(2007.2.1)	474	共同住宅	遺構遺物なし	市3
140	旭1-16-14の一部	(2007.5.7～5.10)	487	学習塾	遺構遺物なし	市4
141	市沢1-8-8	(2007.5.8・9)	735	店舗兼事務所	土坑1、ピット1	市4
142	うれし野1-6-2	(2008.4.4～4.7)	296	寄宿舎(24戸)	遺構遺物なし	市6
143	うれし野2-17-3	(2009.3.23)	287	寄宿舎(25戸)	遺構遺物なし	市6
144	旭1-8-11	(2009.9.18～9.25)	155	店舗兼事務所	遺構遺物なし	市8
145	うれし野2-4-1・10	(2010.7.23～8.25)	4,938	農産物直売所	近世以降の溝5	市10
146	旭1-16-3	(2010.10.8～10.13)	246	分譲住宅	遺構遺物なし	市10
147	旭1-16-8の一部	2010.12.8～2011.1.18	135	個人住宅	縄文中期住居跡1、集石土坑1、土坑1、ピット50、近世以降溝2	市10
148	旭1-16-8の一部	2011.1.19～2.1	211	個人住宅	縄文中期住居跡1、土坑3、ピット20、近世以降溝2	市10
149	うれし野2-4-7	(2011.2.7～2.10)	625	農産物直売所	近世以降の溝1	市10
150	旭一丁目14-5・6	(2012.1.23～2.16)、 2012.2.20～3.4	108	宅地造成	縄文中期住居跡12、集石土坑2、土坑2、ピット36、縄文土器・石器	市11
	旭1-14-18	2013.1.23～2.14	111	個人住宅	縄文中期住居跡5、風倒木痕1、縄文中期土器・石器コンテナ14箱	市15
	旭1-14-19	2012.6.26・27	107	個人住宅	縄文中期住居跡1、縄文土器・石器	市15
	旭1-14-17	2013.7.1～7.26	111	個人住宅	縄文中期住居跡3、土坑3、ピット2、縄文土器・石器	市18

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収 報告書
151	旭1-14-1	(2012.1.25～1.27)	467	分譲住宅	溝5、縄文土器片	市14
152	苗間1-12-3	(2012.1.27～1.31)	324	分譲住宅	遺構遺物なし	市14
153	旭1-6-2の一部、 1-6-4・5	(2012.5.28～5.30)	951	共同住宅	縄文中期住居跡1、縄文土器、石器	市15
154	苗間1-2-2・3	(2011.10.24～10.28)	846	共同住宅	遺構なし 縄文土器片	市14
155	旭1-13-3・25	(2013.10.21・22)	234	分譲住宅	地表面から1.7m掘削するも確認面まで達せず、遺構遺物なし	市18
156	旭1-17-1・2	(2013.11.26～12.9)	2,345	店舗付工場	縄文住居跡床面確認、遺存状態悪く本調査不可	市18
157	旭1-6-3	(2013.12.9～12.17)	602	分譲住宅		市18
158	旭1-15-6の一部	(2014.1.7～1.14)	739	共同住宅	縄文時代住居跡12軒検出、要本調査	市18
159	旭1-15-8	(2014.1.30～2.10) 2014.3.4～5.2	869	共同住宅	縄文時代住居跡9(プラン。炉・ピットのみの検出含む)	市18
160	旭1-14-2	(2014.4.15・16)	309	駐車場	土坑1、縄文土器	市20
161	旭1-15-18	(2014.6.17) 2014.6.18～6.23	442	個人住宅	縄文時代中期住居跡2、溝1、土器片、石器	市20
162	苗間1-13-2～5・11	(2014.8.29・9.4)	2,527	葬祭場	溝1(時期不明、中近世以降)、土器片	市20
163	旭1-7-10	(2015.2.2・3)	149	個人住宅	遺構なし、土器片	市20
164	苗間1-15-8	(2015.5.8～5.18)	647	駐車場	住居跡1、屋外埋蔵1、土坑9、ピット1、縄文土器、石器	未報告
165	旭1-12-1	(2015.9.30)	160	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
166	旭1-13-1・17・18	(2015.11.5)	212	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
167	旭1-8-1	(2015.11.9・10)	349	駐車場	遺構遺物なし	未報告
168	旭1-13-20・23	(2013.10.21)	76.8	店舗	遺構遺物なし(旧西ノ原遺跡第154地点の名称を変更)	市18
169	苗間1-12-5	(2016.9.14)	173	共同住宅	遺構遺物なし	未報告
170	苗間1-14-2・3	(2016.10.18・19)	468	戸建住宅建設	ピット4、溝1、土器、石器、陶磁器	未報告
171	苗間1-4・5	(2016.11.28)	102	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
172	旭1-7-12	(2017.2.17)	147	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
173	苗間1-15・3	(2017.4.14) 2017.4.17～21	113	個人住宅	縄文住居跡1、縄文土器	未報告

※東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、町資：大井町史料編Ⅰ、調査：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市内遺跡群

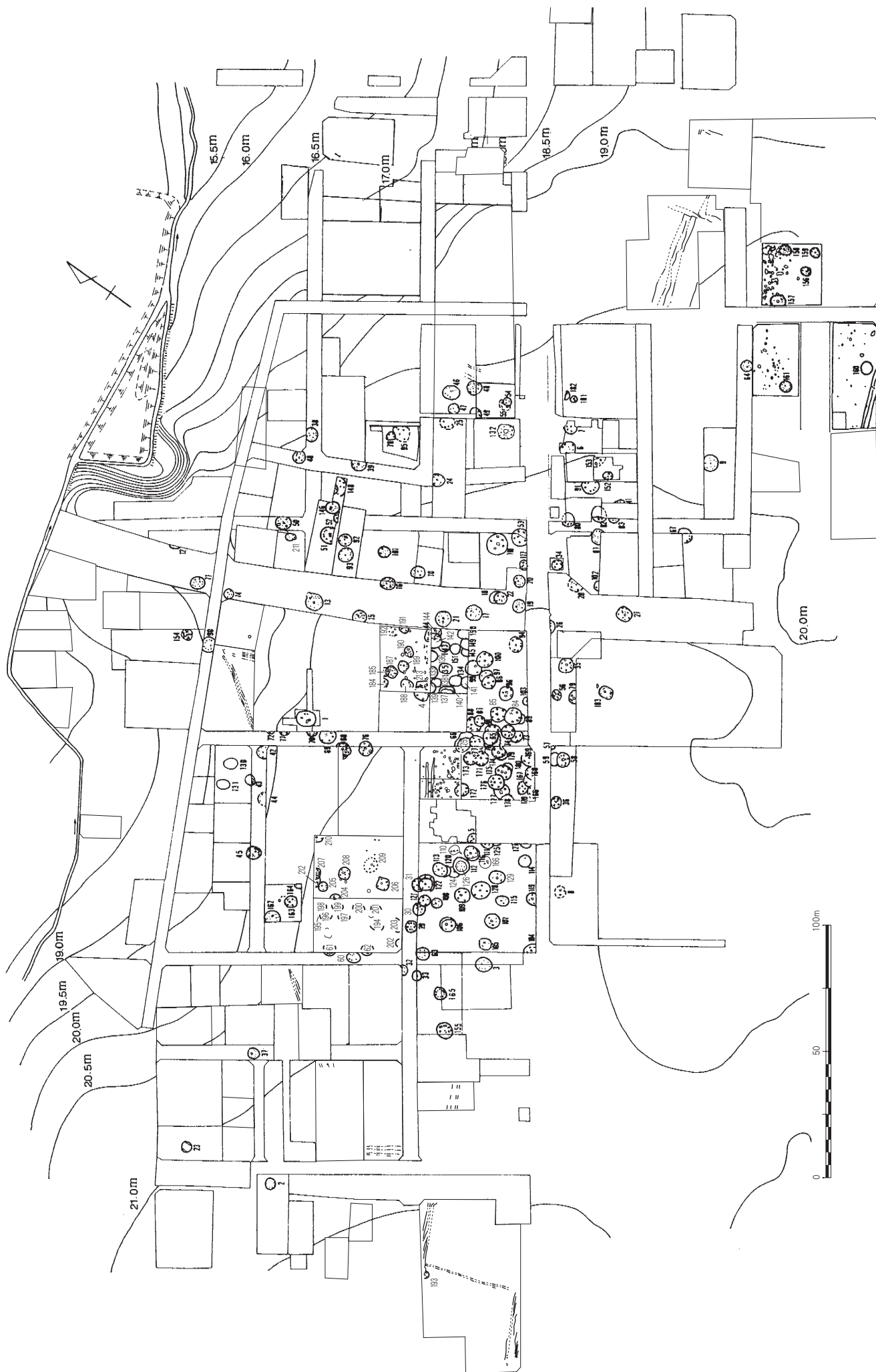
第 22 表 西ノ原遺跡住居跡一覧表

住居番号	調査率	平面形 () は推定	規模	炉			埋裏	拡張	壁溝	備考	時期	文献
				地床	埋設	石囲						
1	完掘	楕円形	456×398	○					有	○ 床直上土器	EⅡ 古	資Ⅰ
2	完掘	不整形	400×400	○	△						阿Ⅱ a	調6集
3	完掘	楕円形	634×530	○	△		△				勝Ⅱ 新	調6集
4	75%	隅丸方形	540×485			○			有	○ 111号と複合	EⅠ 新新	東V
5	60%	隅丸方形	不明	○						111号に切られる	EⅠ 新	東V
6	70%	(隅丸方形)	520×?			○	○	有			EⅡ 新	東V
7	80%	(隅丸方形)	440×430			○					EⅡ 新	東V
8	掘乱	不明	削平			○				石皿	EⅡ	
9	90%	(不整形)	(540)	○							EⅡ	東Ⅵ
10	95%	楕円形	460×415	○				建 替			勝Ⅲ 古	町Ⅱ
11	完掘	楕円形	550×497	○	○			建 替		土製品・浮子	勝Ⅲ 古	調6集
12	30%	(円形)	(440)×?							下層土器	EⅠ 新古	調6集
13	完掘	円形	630×660	○					△	炉西埋設	EⅡ 古	調6集
14	完掘	楕円形	(430×350)	○	○						勝Ⅲ 古	調6集
15	80%	(円形)	543×?	○	○			有	○		EⅠ 古	調6集
16	完掘	楕円形	548×516	○	○			建 替	○	耳栓	EⅠ 古	調6集
17	完掘	楕円形	665×590	○	○			2回拡張	○	復元26個体	勝Ⅲ 新	調6集
18	完掘	楕円形	420×353	○				有	○	22号と複合	(勝Ⅲ)	調6集
19	完掘	円形	515×488	○							EⅡ 中	調6集
20	完掘	楕円形	500×450	○	○			有		有効露付完形・復元15個体	勝Ⅲ 新	調6集
21	完掘	不整形	615×635	○			○	建 替			EⅡ 新	調6集
22	完掘	楕円形	550×450	○	○				○	床直上土器・人面	勝Ⅲ 新	調6集
23	完掘	楕円形	425×370	○							勝Ⅱ 古	東Ⅶ
24	85%	(円形)	不明	○	○					工事中止・調査	勝Ⅲ 古	東Ⅶ
25	85%	楕円形	床部削平				掘 乱	○		工事中止・調査	EⅡ 新	東Ⅶ
26	30%	(円形)	?×(530)	○			○				EⅡ 古	調6集
27	完掘	隅丸方形	570×460	○					○	据付台石・耳栓	EⅠ 新中	調6集
28	65%	円形	床部削平	○	○		○				EⅡ 中	調6集
29	完掘	円形	460×420	○		○					EⅠ	調6集
30	80%	楕円形	405×403	○				有	○	121号と複合	勝Ⅲ	調6集
31	完掘	円形	半掘	○						122号と複合	勝Ⅲ	調6集
32	50%	(不整形)	(380)×350	○	○						勝Ⅱ 新	調6集
33	完掘	楕円形	?×(340)	○	○					2回発掘	EⅠ 新	町XⅡ
34	完掘	楕円形	580×490	○				建 替			EⅡ 中	調6集
35	完掘	楕円形	605×550			○				耳栓・石皿	EⅡ 中	調6集
36	完掘	隅丸方形	560×530			○			△		EⅠ 新中	調6集
37	完掘	楕円形	440×390	○			△			柱穴内土器	阿Ⅱ 新	調6集
38	90%	隅丸方形	530×524	○							EⅡ 新	調6集
39	70%	円形	(610)×?			○					EⅠ 新	調6集

住居番号	調査率	平面形 () は推定	規模	炉			埋裏	拡張	壁溝	備考	時期	文献
				地床	埋設	石囲						
40	95%	楕円形	420×380	○					○		EⅠ 古	調6集
41	20%	(楕円形)	一部のみ調査				未 掘		○		EⅡ 新	町Ⅱ
42	60%	楕円形	610×510	○							EⅠ 新	調6集
43	完掘	円形	506×470				不 明		有	○ 床大部分掘乱	不明	調6集
44	50%	楕円形	(約500)×?	○							EⅠ 新	調6集
45	完掘	楕円形	560×530		○			建 替	○	耳栓	勝Ⅲ 新	調6・XⅡ
46	完掘	楕円形	600×496	○							EⅡ	東Ⅹ
47	98%	円形	約460×約450			○				有孔露付・硬玉大珠	EⅡ 新	東Ⅹ
48	完掘	円形	550×560	○	○						EⅡ 新	東ⅩⅠ
49	75%	楕円形	半掘×740	○							EⅡ	東ⅩⅠ
50	完掘	円形	530×約500			○			○		EⅡ	調6・市20
51	80%	大部分未掘	540×630	③	○			有	×		EⅡ 新	調6集
52	60%	大部分未掘	460×?	○	○				×		EⅠ 新	調13集
53	90%	大部分未掘	690×560		○	○	建 替	○		朱塗多い	勝Ⅲ 古	調6集
54	完掘	円形	335×355	○						55号と複合	EⅡ	東ⅩⅠ
55	掘乱	不明	690×?	○						54号と複合	EⅢ	東ⅩⅠ
56	完掘	楕円形	600×496	○						床直上土器	EⅠ 新	調6集
57	35%	不明	?×約500				未 掘				EⅠ 新	調6集
58	完掘	円形	550×560	○				△		柱穴内土器	EⅡ 新	調6集
59	40%	楕円形	半掘×740	○		○				58号と複合	EⅡ 新	調6集
60	85%	楕円形	590×540	○	○			有	○	復元27個体・石器36	勝Ⅲ 未～E	調6集
61	20%	(円形)	(475×365)				未 掘				勝Ⅲ 古	調6・市18
62	20%	(円形)	(450×435)				未 掘				EⅠ 新	調6・市18
63	完掘	楕円形	550×492	○				有	○	異系土器	EⅠ 新古	調6集
64	完掘	不整形	418×420	○							EⅡ	調6集
65	完掘	円形	550×565	○				3回拡張	○	耳栓・連弧文・復原33個体	EⅡ	調6集
66	90%	楕円形	670×570	○		○	○			耳栓・土鏝・77・75号と複合	EⅡ	調6集
67	75%	楕円形	670×620	○	○	○	○	有	○	土鏝・建替有	EⅠ 古	町XⅡ
68	75%	円形	625×610	○			○	有		3回発掘	EⅡ 中	町XⅠ
69	80%	円形	618×?	○		○				曽利式多い	EⅡ 新	調6集
70	30%	東半未掘	468×?				未 掘			床直上土器	EⅠ 新中	調6集
71	20%	円形	420×?				未 掘			石皿	勝Ⅲ 古	調6集
72	15%	隅丸方形	不明				未 掘	有	○		勝Ⅲ 古	調6集
73	80%	楕円形?	570×440	○						大磨製石斧・器台	EⅡ 新	調6集
74	95%	隅丸方形	520×410	○	○			有	○	曽利系・98号と複合	EⅠ 新中	調6集
75	80%	楕円形	(600)×(600)			○			○	ミニ土器・66・77号と複合	勝Ⅲ 古	調6集
76	完掘	円形	512×545		○	○			○	3回発掘	EⅡ 中	町XⅠ

住居番号	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉			埋裏	拡張	壁溝	備考	時期	文献
				地床	埋設	石囲						
77	80%	楕円形	(550)×(550)	○			○		○	石棒・石皿・75号と複合	EⅠ新中	調6集
78	完掘	楕円形	402×352	○							勝Ⅲ	町Ⅵ
79	55%	南半未掘	?×570	○	△			3回拡張	○	炉上土器	勝Ⅲ新	調6集
80	80%	東半未掘	422×460	○				有			EⅡ新	調6集
81	65%	円形	588×未掘	○			○			管利系	EⅡ	調6集
82	70%	楕円形	(560～570)	○			○				EⅡ中	調6集
83	45%	円形	364×?			未掘					EⅡ	調6集
84	完掘	隅丸方形	732×674	○			○	有	○	複合・小形磨製石斧	EⅠ新中	調5集
85	完掘	楕円形	620×598	○	△		○			84号と複合	EⅡ新	調5集
86	完掘	隅丸方形	520×490	○			○	有	○	97号と複合	EⅠ新新	調5集
87	完掘	円形	354×374	○						88号と複合	EⅡ	調5集
88	85%	隅丸方形	640×559		○	○	○	有	○	複合・復原31個体	EⅠ古	調5集
89	完掘	円形?	420×(390)	○						85号と複合	EⅠ新	調5集
90	70%	楕円形	?×560	○					○		勝Ⅲ新	調6集
91	80%	隅丸方形	746×?	○	○			有	○		勝Ⅲ新	町Ⅱ
92	完掘	楕円形	508×422	○	○			有	○		勝Ⅲ	調5集
93	完掘	楕円形	580×490	○			○	建替			EⅡ	調5集
94	70%	円形	不明	○	○		○			床掘乱	EⅡ	調5集
95	完掘	(円形)	(600×500)	○							EⅡ	町Ⅵ
96	完掘	楕円形	(560×580)			○				小形磨製石斧	EⅡ	調5集
97	完掘	楕円形	602×505	○						86号と複合	EⅡ古	調5集
98	60%	楕円形	472×(234)	○	○					74号と複合	勝Ⅲ古	調5集
99	完掘	不明	?×402	○						100号と複合	EⅡ新	調5・13集
100	完掘	隅丸方形	614×644		○	○	○伏	有	○	小形磨製石斧・99号と複合	EⅡ新	調5集
101	完掘	円形	414×420	○	○			有			EⅠ新中	町Ⅱ
102	40%	円形	?×376								EⅡ	町Ⅱ
103	55%	楕円形	?×380	○	○						阿Ⅰb古	調5集
104	90%	(楕円形)	(524×449)	○	○			有	○		勝Ⅲ	調13集
105	完掘	円形	405×420	○	○			有			EⅠ新	調13集
106	完掘	円形	560×520	②			○	有	○		EⅠ新中	調13集
107	完掘	円形	520×510	②	○			有			勝Ⅱ新	調13集
108	完掘	円形	385×340	○	○				○		勝Ⅲ新	調13集
109	完掘	楕円形	560×494	○	○	○			○		EⅠ新	調13集
110	完掘	不整円形	418×370	○								調13集
111	30%	楕円形	不明			未掘			○	5・125号と複合	E	
112	完掘	隅丸方形	600×574	○	○		○	有	○	124・126号と複合	EⅠ新中	調13集
113	完掘	隅丸方形	520×496	○	○		○		○	120号と複合	EⅠ新古	調13集
114	完掘	円形	480×480	○	○			有	○		勝Ⅲ古	調13集
115	完掘	隅丸方形	460×340	○	○						勝Ⅲ	調13集
116	完掘	楕円形	540×498		○	○			○	添石埋裏炉	EⅠ古 (中峠)	調13集
117	70%	隅丸方形	?×440	○	○						勝Ⅲ新	調6集
118	完掘	楕円形	520×374	○	○			建替			EⅡ新	調6集
119	90%	楕円形	580×480	○				有	○		EⅡ・曾	調13集
120	完掘	円形	392×400	○						113・124号と複合	EⅠ新古	調13集
121	完掘	(円形)	380×390	○	○					30号と複合	EⅡ	調13集
122	完掘	隅丸方形		②			○	有	○	31号と複合	EⅡ	調13集
123												
124	完掘	円形?	418×420	○	○					112・120・126号と複合	勝Ⅲ新	調13集
125	10%	不明	不明			未掘			○	111号と複合	E	調13集
126	完掘	不明	550×565		○	○		有	○	112・124号と複合	EⅠ新	調13集
127	10%	不明	645×?			未掘					E	調13集
128	完掘	楕円形	(610×580)	○						削平著しい	E	調13集
129	完掘	不明	618×?	○							E	調13集
130	完掘	円形	542×465	○	○						勝Ⅲ古	町Ⅳ
131	完掘	楕円形	560×442	○	○				○		勝Ⅲ新	町Ⅳ
132	完掘	楕円形	590×580	②			○	有			EⅢ	調13集
133	60%	楕円形	?×460	○			○	有		138号と複合	EⅢ	調13集
134	完掘	隅丸方形	630×530	②				有		141号と複合	EⅠ新	調13集
135	完掘	隅丸方形	540×460	○	○				○		勝Ⅲ	調13集
136	70%	楕円形	?×610	②				有				調13集
137	20%	不明	×?	○				有	○	138・140号と複合	E	調13集
138	完掘	隅丸方形	450×360	○	○			有		133・139・140号と複合	勝Ⅲ	調13集
139	55%	不明	(546)×不明	○		○				138号と複合、 4・213号と重複		調13集
140	40%	楕円形	(762)×不明	○						137・138号と複合		調13集
141	55%	不明	528×不明	○						134号と複合		調13集
142	50%	不明	不明	○					○	143・144号と複合		調13集
143	完掘	楕円形	479×421			○		建替	○	142・151号と複合		調13集
144	90%	(隅丸長方形)	595×430×40	○	○			有		142号と複合	勝Ⅲ新	調13・市14
145	60%	不明	不明×325	○						149・151号と複合		調13集

住居番号	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉			埋裏	拡張	壁溝	備考	時期	文献
				地床	埋設	石囲						
146	85%	楕円形	585×?	○				有		炉穴群と複合	EⅡ	調17集
147	30%	楕円形	?×			未掘			○	148号と複合	EⅡ	町Ⅴ
148	完掘	楕円形	不明	○						147号と複合	EⅡ	町Ⅴ
149	90%	(楕円形)	430×336		○	○				145・150号と複合	EⅡ新	調13集
150	80%	(円形)	581×不明			○				149・151号と複合		調13集
151	95%	(楕円形)	664×(642)		○	○				143・145・150号と複合	EⅡ古	調13集
152	95%	円形	380×370	○						153号と複合	EⅡ	町Ⅵ
153	20%	(円形)	-600	○						152号と複合	EⅡ新	町Ⅵ
154	完掘	不明	(400)	○	○			有		床面まで削平	勝Ⅲ	町Ⅶ
155	75%	隅丸方形	610×540	②	②		建替と拡張		○	2回拡張・建替	勝Ⅲ・新・EⅠ新式古	町ⅩⅡ
156	完掘	円形	462×365×14		○						EⅡ新	調17集
157	75%	楕円形	594×392×22	○							EⅡ	調17集
158	完掘	不定形	669×455×16			○					EⅡ新	調17集
159	完掘	円形	434×415×13	○?							EⅡ～Ⅲ	調17集
160	完掘	円形	547×490×35			○?					EⅡ新	調17集
161	完掘	楕円形	512×440×16		○	○?	②				EⅡ中～新	調17集
162	75%	隅丸方形	715×?	③	○		2回拡張		○		勝Ⅲ	町Ⅹ
163	完掘	楕円形	505×482	○	○		○	有	○	脂肪酸分析実施	EⅠ新古	町Ⅹ
164	20%	隅丸方形	不明			未掘			○		EⅠ新	町Ⅹ
165	完掘	卵形	498×488	②	○			建替	○	他地域系多い	勝Ⅲ・EⅠ新式古	町ⅩⅡ
166	10%	不明	不明	○						削平著しく炉・ピットのみ検出	EⅡ中	調13集
167	55%	(円形)	不明							168・170号と複合	EⅡ	調18集
168	45%	隅丸方形	不明			未掘		有	○	167号に切られる	EⅠ新	調18集
169	30%	円形	不明	○						南・東未発掘		調18集
170	60%	(円形)	不明×496	○						167号を切る	EⅢ	調18集
171	完掘	不整円形	554×595	○				有	○	173号を切る	EⅡ	調18集
172	52%	円形	不明×472			未掘			○		EⅠ古	調18集
173	完掘	円形	485×492	○				有		171号に切られる	EⅠ新	調18集
174	90%	楕円形	612×?	○						179号と複合	EⅡ古	調18集
175	完掘	楕円形	640×630					有	○	176号に切られる	EⅡ	調18集
176	完掘	隅丸方形	690×535	○	○		2回拡張		○	175・177号と複合	EⅠ古	調18集
177	95%	楕円形	624×不明	○			○	不明		176号を切る	EⅡ	調18集
178	10%	隅丸方形	不明			未掘		有	○	177号と複合	EⅠ新	調18集
179	95%	楕円形						○		174号を切る	EⅡ	調18集
180	完掘	円形	385×392								EⅡ	調18集
181	完掘	不整楕円形	340×298	○						削平著しい	EⅡ	調18集
182	45%	(円形)	不明×390		○					削平著しい	EⅡ	調18集
183	完掘	隅丸方形	450×370	○	○				○		EⅠ新	市3
184	25%	(隅丸方形)	(337×225)						○			市15
185	80%	(円形)	320×(224)				○		○	187号と複合		市15
186	欠番											
187	完掘	楕円形	480×430			○		○	○	185号と複合		市15
188	50%	楕円形	(517×430)		○						EⅢ	市15
189	完掘	楕円形	452×400	○							EⅡ～EⅢ	市11・15
190	完掘	楕円形	436×302	○							EⅢ	市11
191	50%	(円形)	(392×220)					○			EⅢ	市11
192								○		掘り込み確認できず		市15
193	90%	(円形)	(270×173)		○						阿玉台Ⅰb～Ⅱ	市18
194		不明	(310×195)									市18
195		不明	(150×135)									市18
196		不明	(490×145)									市18
197		不明	(455×140)									市18
198		不明	(330×160)									市18
199		不明	(430×160)									市18
200		不明	(485×150)									市18
201		不明	(410×150)									市18
202		不明	(310×140)									市18
203		不明	(440×155)									市18
204	50%	円形が隅丸方形	375×165×20		○	○						市16
205	100%	円形	360×35×35		○	○				212号と重複		市16
206	100%	隅丸長方形	475×455×18		○	○	○					市16
207	50%	円形が隅丸方形	(375×160)×20		○					212号と重複		市16
208	100%	隅丸台形	475×452×43.6			○	○		○			市16
209	100%	不明	直径360cm以上									市16
210	25%	不明	(260×168)×50	○								市16
211												市20
212	40%	櫛形が隅丸長方形	(460×19)×55	○					○	207号と重複		市16
213	90%	隅丸長方形	(460×300)×32							4・139号と重複		市18



第36図 西ノ原遺跡遺構分布図 (1/2,000)

について」がふじみ野市教育委員会に提出された。

試掘調査は原因者が表土層の削平を行った後、幅約 1～1.8 m のトレンチ 5 を設定し、人力による表土除去を行った。土坑 1 基及び表土層から縄文土器が出土した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

①土坑

平面形態は円形を呈する。規模は、確認面径 115×97 cm、底径 83×80 cm、深さ 29.8 cm である。覆土層の観察から縄文時代と考えられる。覆土中から縄文土器片 1 点が出土した。

②遺物 (第 37 図 1～12)

1 は土坑覆土中、2～12 は表土中出土である。1 は刻目のある隆帯脇に沈線を施す。2 は無文の口縁部。3 は無文口縁部に口唇部は「く」の字状に屈曲し隆帯を貼付ける。4 は沈線文を施す。5 は隆起帯に半截竹管状工具の内側で連続爪形文と交互刺突を施す区画内に横位沈線文を施す。6 は半截竹管の内側で平行沈線を施し、その上に大きな刺突の刻目を施す。7 は地文 L r 撚糸文に隆帯の区画文を施す。8 は地文 L r 撚糸文に沈線文を施す。9 は地文 L r 撚糸文に横位隆帯と隆帯の蛇行懸垂文を貼付する。10 は頸部無文帯と 2 本組の横位隆帯から隆帯の懸垂文を貼付し区画内に沈線文を施す。11 は無節 r の側面圧痕を施す。12 は底部で無文である。1、3～6 は勝坂Ⅲ式、2 は勝坂式、7～10 は加曽利 E I 式である。2 と 12 は中期とみられる。

Ⅲ 西ノ原遺跡第 161 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2014 年 5 月 26 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請地の一部は、1990 (平成 2) 年度の大井・苗間第一土地区画整理事業に伴う旧道部分の調査で、第 50 号住居跡の一部が調査されている。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014 年 6 月 17 日に試掘調査を行った。

試掘調査は、幅約 1.5 m のトレンチ 3 本を設定し、重機による表土除去後、人力による調査を行った。試掘調査の結果、第 50 号住居跡とみられる遺構の他、

新たに住居跡 1 軒が確認された。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 cm であり、遺構への影響が避けられないため、原因者と再協議の結果、本調査を実施した。

本調査は 2014 年 6 月 18 日～23 日まで、調査区中央部の住居跡が確認された部分を重機で表土除去後、人力による調査を行った。

(2) 遺構と遺物

①第 50 号住居跡

【位置・時期】調査区の中央部に位置する。

1990 (平成 2) 年度の大井・苗間第一土地区画整理事業に伴う旧道部分の調査で住居跡全体の約 80 % が調査済である。縄文時代の土坑 2 基と重複し、住居跡の南西隅は近世以降の溝に切られる。

【形状・規模】前回の調査では平面形態は楕円形と推定されていたが隅丸長方形に近い。規模は、長軸 572 cm、短軸 490 cm、深さ 18 cm である。周溝はない。

【炉】炉は住居跡中央部やや南寄りに位置する、石囲炉である。礫 14 点が残存するが、東北部の礫は欠損する。炉の規模は長軸 68 cm、短軸 (53) cm、深さ 11 cm である。

【柱穴】柱穴は 3 本検出し、主柱穴である。各ピットの詳細は第 23 表のとおりである。

【遺物出土状況】今回の調査は北西隅の一部を検出したため、新たに出土した遺物のみ 6 点を掲載した。全て覆土層と住居跡の埋め土から出土したものである。大部分の遺物は前回の調査で出土しており、大井町遺跡調査会報告第 6 集『西ノ原遺跡』に掲載されたものを参照されたい。前回の調査では覆土層から打製石斧 1 点、石鏃 1 点、土器片 107 点が出土した。土器は勝坂式末 30%、加曽利 E I 式 40%、加曽利 E II 式 10%、加曽利 E III 式 20% である。

【出土遺物】(第 40 図 1～6)

1 は波状口縁の波頭部で外面に沈線を施し、内面は無文である。2 は浅鉢の口縁部か。3 は外面無文で内面は僅かに括れる。4 は R 1 の撚糸文。5 は沈線の懸垂文と地文 R L 縄文を施す。6 は須恵器坏片である。1、3、5 は加曽利 E II～III 式。2、4 は勝坂式から加曽利 E 式。

②第 211 号住居跡

【位置・時期】調査区の中央部に位置する。北東約 140cm 離れて第 50 号住居跡が位置する。

【形状・規模】平面形態は南北に長い楕円形で、規模

は長軸 425 cm、短軸 273 cm、深さ 16 cm である。周溝はない。

【炉】炉は住居跡中央部やや北寄りに位置する。耕作により半分が破壊される。炉は底部を欠損する縄文土器を正位に設置した埋甕炉で、残存規模は長軸 42 cm、短軸 (16) cm、深さ 22 cm である。

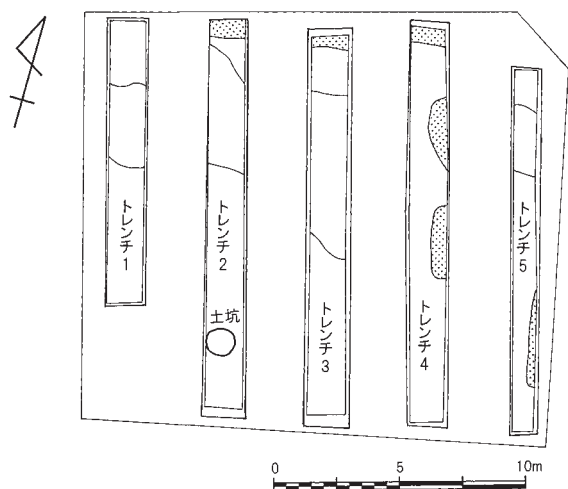
【柱穴】柱穴は 5 本検出し、主柱穴は P1 ～ 4 である。各ピットの詳細は第 23 表のとおりである。

【遺物出土状況】遺物は住居跡床面から覆土層にかけて僅かに出土した。

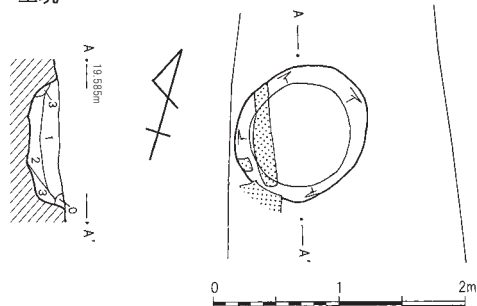
【出土遺物】(第 40 図 7 ～ 15)

7 は炉体土器、口縁と胴部下半を欠損。内外面に被熱によるはがれが認められる。地文は横位の RL 縄文。勝坂Ⅲ式か。8 は 4 単位波状口縁の深鉢口縁部、刻みを持つ隆帯により三角や半円形に区画。区画内には沈線による玉抱き三叉文や縦位文。勝坂Ⅲ式末。9 は深

第 160 地点



土坑



0. 攪乱

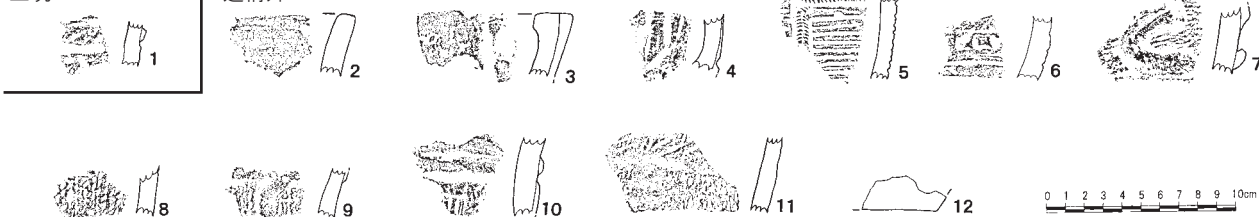
1. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒極少し含む

2. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く、同焼土粒極少し含む

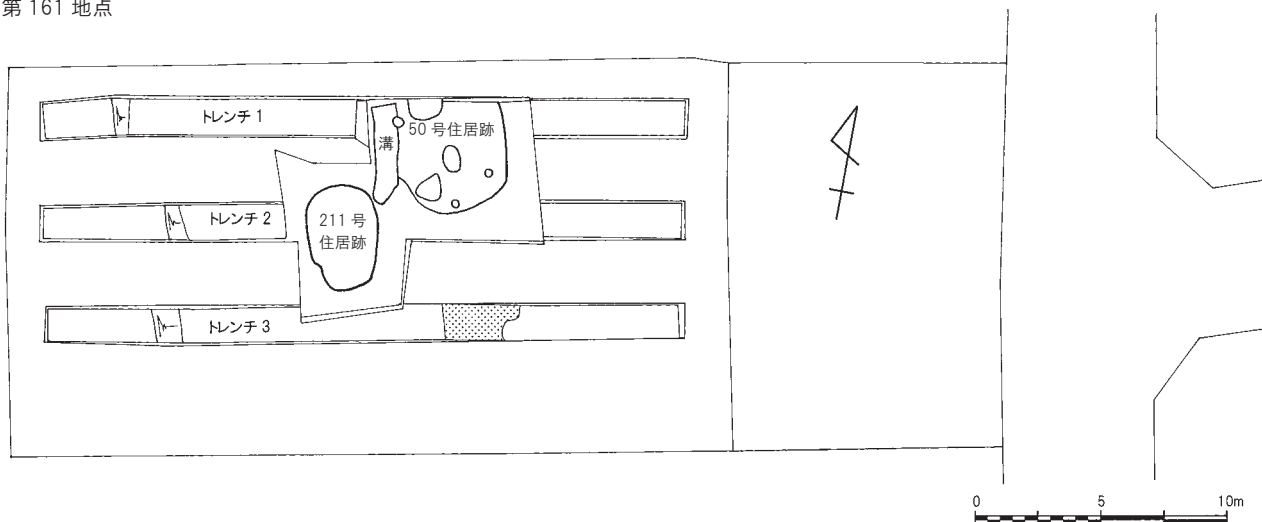
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、ソフトローム崩落土

土坑

遺構外



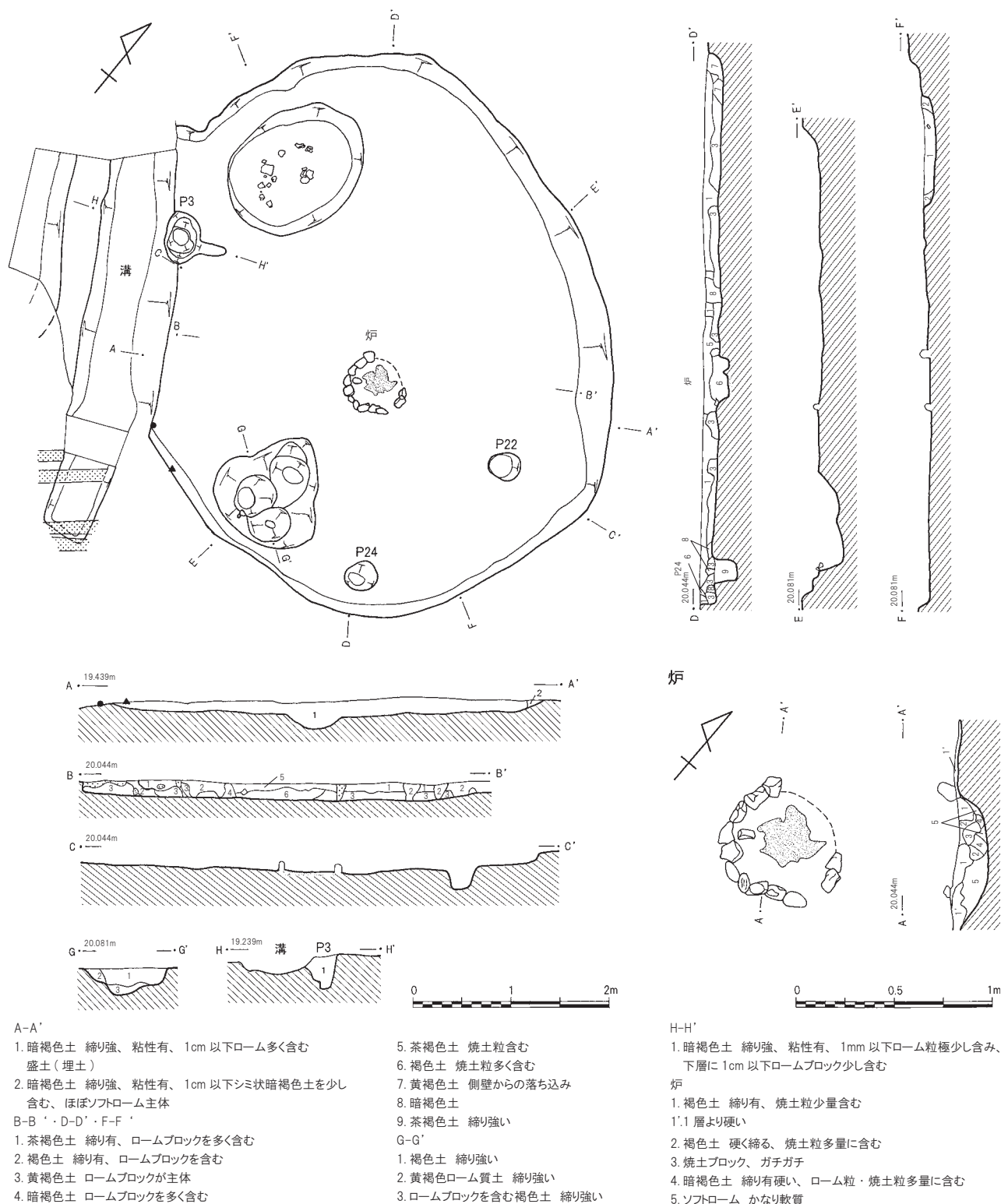
第 161 地点



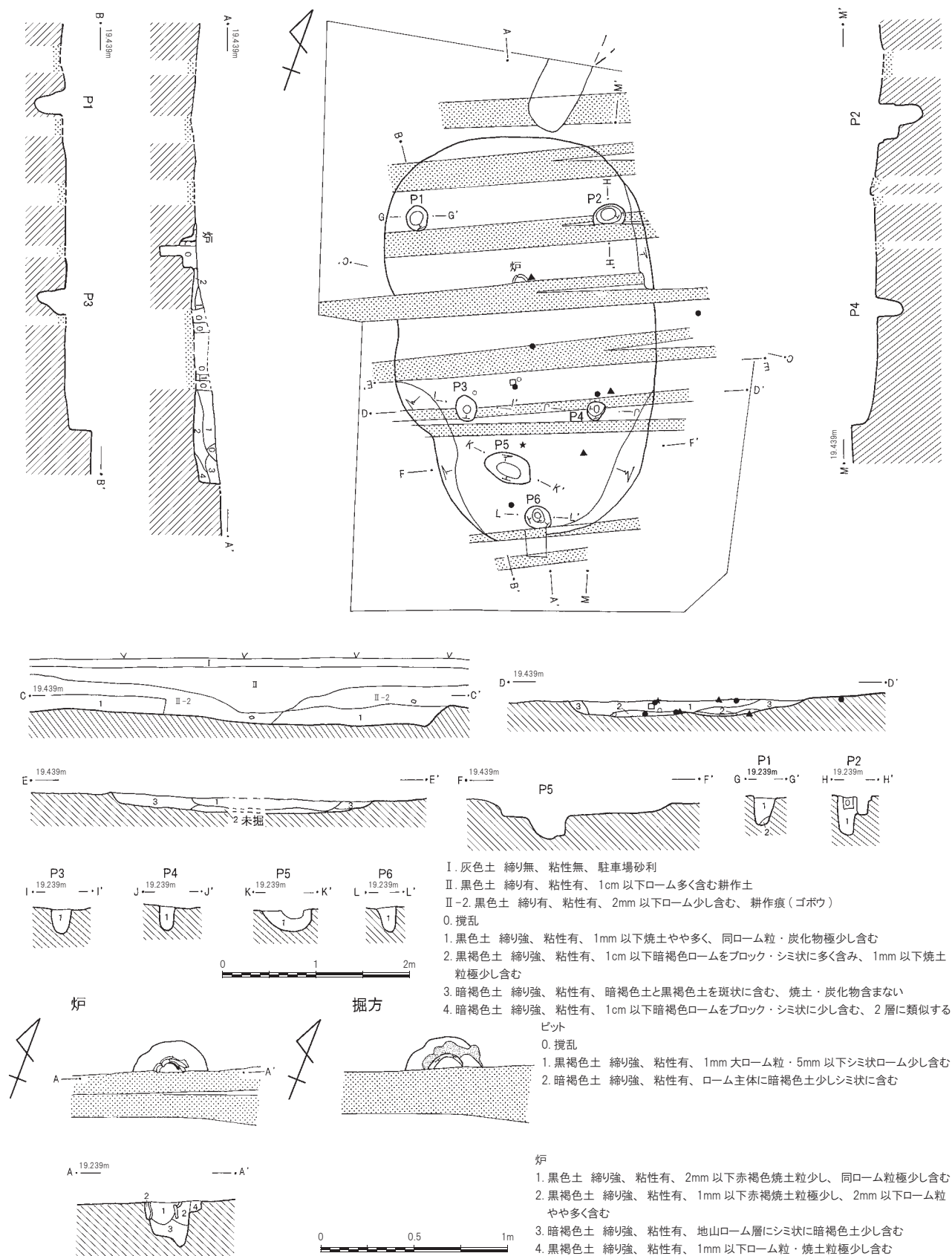
第 37 図 西ノ原遺跡第 160・161 地点 遺構配置図 (1/300)、第 160 地点土坑 (1/60)、出土遺物 (1/4)

第 23 表 西ノ原遺跡第 161 地点 50・211 号住居跡ピット一覧表 (単位 cm)

	No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考		No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
50号 住居跡	3	不整形	61×52	17×15	38.9		211号 住居跡	1	円形	27×22	15×12	31.8	
	22	方形	32×29	20×15	19.2			2	不明	36×(26)	16×11	46.2	
	24	方形	34×29	20×17	23.1			3	円形	27×22	7×7	30.9	
								4	円形	20×18	8×5	27.2	
								5	楕円形	55×30	28×12	24.1	
								6	(円形)	30×25	8×8	32.9	



第 38 図 西ノ原遺跡第 161 地点 50 号住居跡 (1/60)、炉 (1/30)



第39図 西ノ原遺跡第161地点211号住居跡(1/60)、炉・掘方(1/30)

鉢口縁部、隆帯と沈線による楕円形の区画。隆帯上、沈線間に刻み。胎土に結晶片岩を含む。10・11は刻みを持つ隆帯と沈線による区画。9～11は勝坂Ⅲ式。12は隆帯上にLr捺糸。13は地文横位RL縄文。15は打製石斧、凝灰岩製。長さ8.6cm、幅4.2cm、厚さ1.5cm。刃部に摩滅が見られる。

【遺構外出土遺物】(第40図16～21)

16は深鉢胴部、隆帯を垂下、沈線により渦巻き文。勝坂Ⅲ式。17は深鉢胴部、地文縦位RL縄文。隆起線による懸垂文。加曽利EⅡ式。18は深鉢胴部、沈線による逆U字の区画か。加曽利EⅡ～Ⅲ式。19は深鉢胴部、櫛歯状工具による縦位の波状文。加曽利EⅡ式併行。20、21は無文の底部。20は浅鉢か。

Ⅳ 西ノ原遺跡第 162 地点

(1) 調査の概要

調査は葬祭場建設に伴うもので、原因者より2014年7月14日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年8月29日～9月4日に試掘調査を行った。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ5本を設定し、重機による表土除去後、人力による調査を行った。

現地表面から地山ローム層までの深さは約60～80cmで、調査区北東に攪乱がみられる。

試掘調査の結果、中近世以降の溝1条を確認、一部を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。遺構と遺物は次のとおりである。

(2) 遺構と遺物

① 溝

調査区西側に位置し、南北方向に走行する。規模は上幅60cm、下幅32cm、深さ22cm、溝の断面形状は浅い「U」字状を呈する。出土遺物なし。

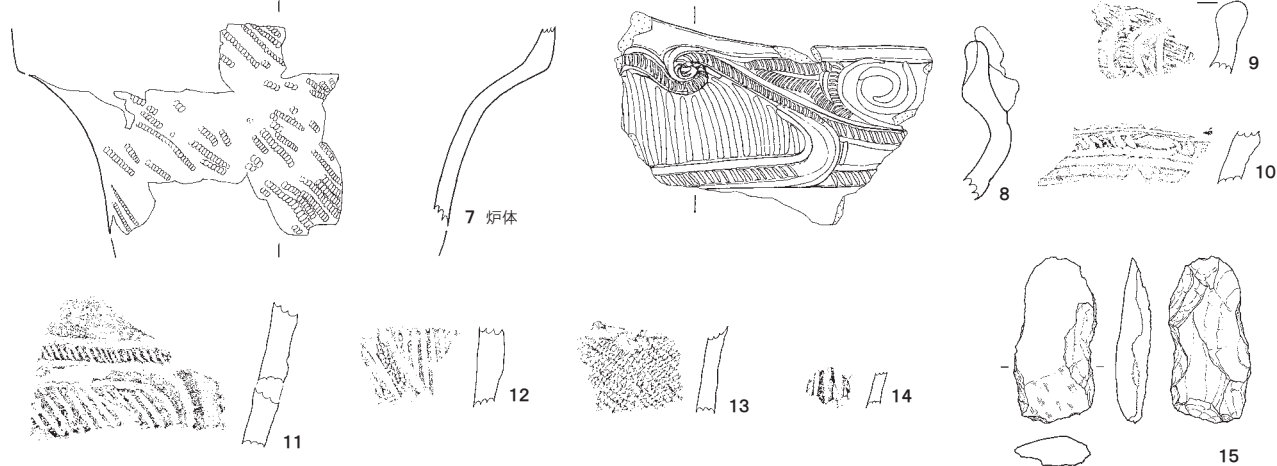
② 遺構外出土遺物(第41図1～10)

今回の調査で、表土中から縄文土器片が出土した。1は深鉢胴部、縦位LR縄文と沈線による懸垂文。2、3は深鉢胴部、縦位RLと沈線による懸垂文。1～3は加曽利EⅡ式。4は沈線による渦巻き。5は深鉢口縁部、横位や弧状の沈線が見られる。薄手で丁寧に磨かれる。6は有孔罎付土器の罎部。罎部に上から穿孔している。罎から隆帯を弧状に垂下し区画、区画内に

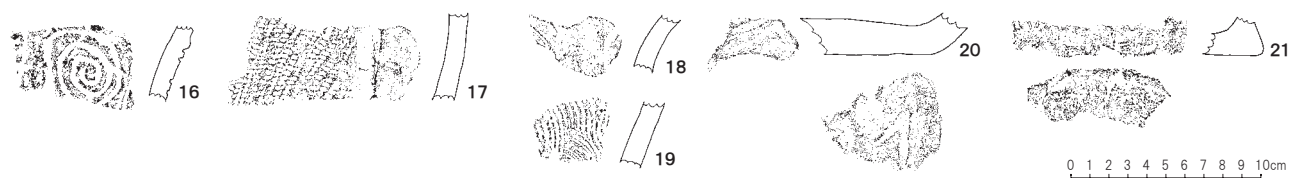
50号住居跡



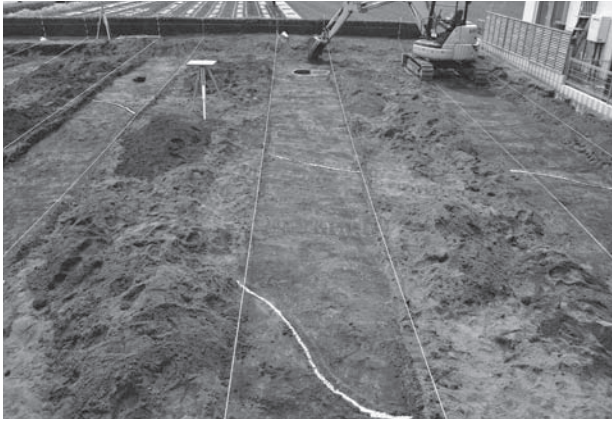
211号住居跡



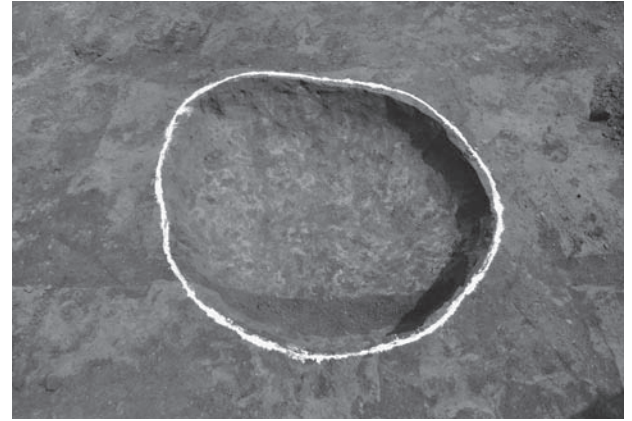
遺構外



第40図 西ノ原遺跡第 161 地点出土遺物 (1/4)



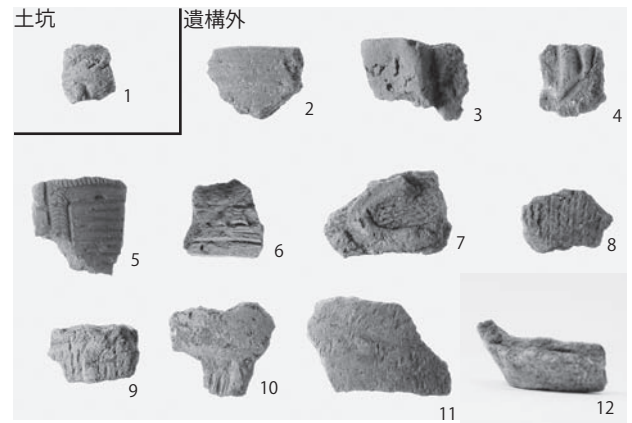
西ノ原遺跡第 160 地点調査風景



西ノ原遺跡第 160 地点土坑



西ノ原遺跡第 160 地点調査風景



西ノ原遺跡第 160 地点出土遺物



西ノ原遺跡第 161 地点調査風景



西ノ原遺跡第 161 地点トレンチ 2



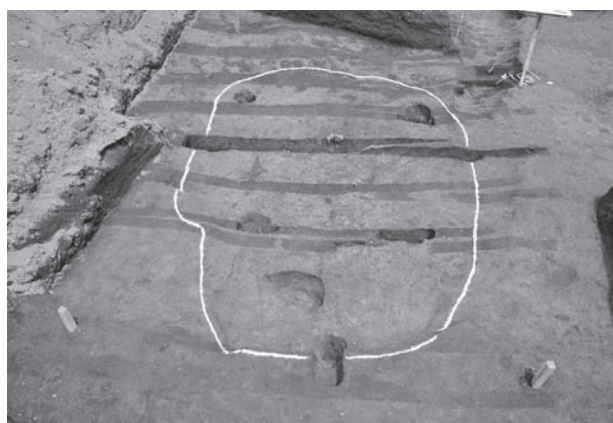
西ノ原遺跡第 161 地点 50・211 号住居跡



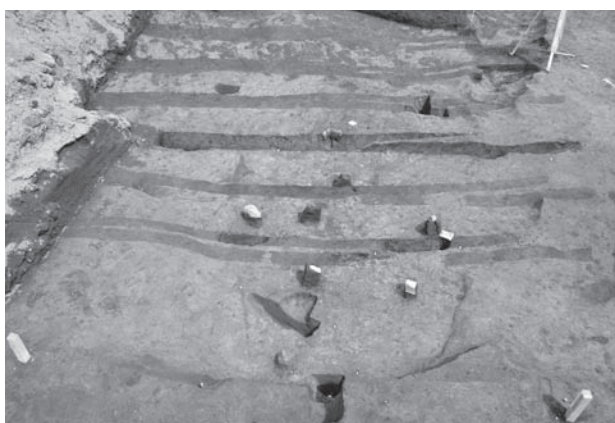
西ノ原遺跡第 161 地点 211 号住居跡



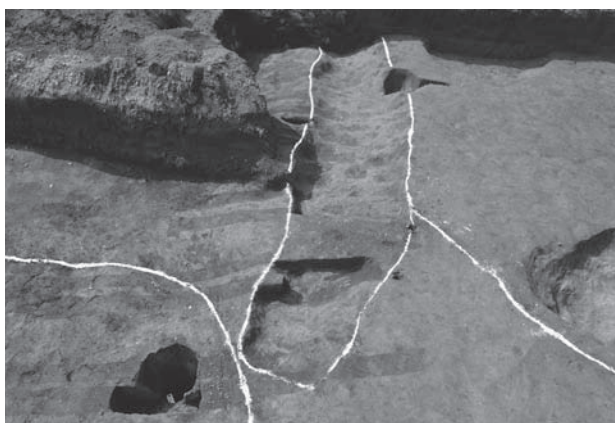
西ノ原遺跡第 161 地点 50 号住居跡



西ノ原遺跡第 161 地点 211 号住居跡

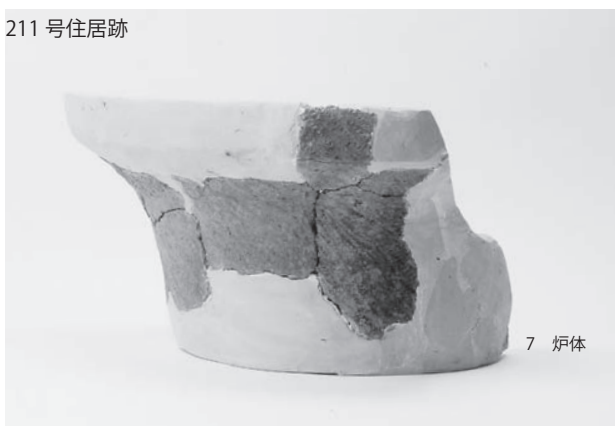


西ノ原遺跡第 161 地点 211 号住居跡



西ノ原遺跡第 161 地点溝

211 号住居跡



7 炉体



西ノ原遺跡第 161 地点 211 炉体

50 号住居跡



211 号住居跡



8



遺構外



西ノ原遺跡第 161 地点出土遺物